

## 1 社会・治安情勢

- (1) 国家の統治及び社会の安寧秩序を著しく不安定にするような戦闘，暴動，凶悪犯罪等は認められないが，中国による西沙諸島海域内掘削装置設置に関し，5月にはハノイ市内において参加者約600人に上る大規模な反中国抗議活動が認められた。また，同月ダナンやフエ，ハイフォン市，タイビン省，ハーティン省においても，同様の抗議行動が発生し，中でもハーティン省では暴徒化した抗議行動参加者が，主に台湾，中国系企業を襲撃し，死者1名を含む150名の負傷者がでる事態となった。公安当局によれば，6月19日ハノイ市内において，反中国抗議活動を行うために終結した数十人のグループを抗議活動前に解散させる等しており，依然として中国に対して抗議活動を行おうとする者が見受けられるも，ベトナム北部及び中部の各都市において反中国抗議活動が発生したとの情報は確認されていない。
- (2) 当地は共産党による一党体制で政権は安定しているといえる。期間中，第13期国会第7会期が行われ，信任投票に関する決議について，引き続き審議することとなった一方，本年末の国会会期において参考信任投票を実施することが決定された。
- (3) 当地の対日感情を損なう情報には特段接していない。

## 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) 当地では，犯罪発生状況に関する公的な統計を閲覧できるインフラは整備されていないが，日常，凶悪事件を含む犯罪の発生が報じられない日はなく，一般犯罪及び凶悪犯罪ともに断続的に発生していることが認められる。また近年，薬物密輸・密売事件の検挙報道が増えており，大麻や合成麻薬を始めとした薬物がベトナム国内に蔓延してきていることが窺える。

以下の統計は，6月末に政府の犯罪防止指導委員会において公安省が発表したもので，今年上半期の刑法犯認知件数等である。

### 【刑法犯】

- ア 認知件数：2万9,111件
- イ 検挙件数：2万2,002件
- ウ 検挙人員：4万5,261人（内1,469の犯罪グループを含む）

### 【薬物犯罪】

- ア 検挙件数：9,347件
- イ 検挙人員：1万3,953人
- ウ 各薬物押収量：ヘロイン約246キロ，合成麻薬30万2,048錠，大麻約657キロ

## (2) 邦人被害事案

- ア 深夜，カラオケから帰宅途中の邦人が，ハノイ市内において見知らぬベトナム人女性から声を掛けられた隙に，共犯とみられる他のベトナム人男性が背後から近づき，いきなりズボンのポケットから財布を抜き取って，バイクで逃走した。

イ 観光中の邦人が、ホアンキエム湖周辺でベンチにバックを置いたまま、その場を少し離れたところ、バッグから携帯電話機を盗まれていた。

ウ ハノイ市内をバスで移動中の邦人が、所持していたハンドバッグを鋭利な物で割かれ、バッグから財布を盗まれていた。

### (3) 外国人被害事案

ベトナム航空機内で窃盗事件が相次いでおり、特に東南アジア諸国行き便で中国人による窃盗事件が多発している。窃盗犯は、主にグループで行動しており組織的に犯行を繰り返していると見られ、ベトナム航空の機内チェックの甘さを狙った犯行との見方がある。

## 3 テロ・爆弾事件等発生状況

テロ、爆弾事件の発生は認知していないものの、4月クアンニン省の中越国境付近で、ベトナムに不法入国した中国人16人がベトナム国境警備隊員に拘束された後、拘束されたうちの1人が隊員の銃を奪い発砲、銃撃戦となりベトナム人隊員2人、中国人不法入国者5人の計7人が死亡する事件が発生した。

## 4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人の誘拐事件の発生は認知していない。

## 5 日本企業の安全に係わる諸問題

(1) 日本企業に対するストライキの発生件数（当館把握数）は0件であった。

(2) 5月にハノイ市内を始めベトナム全土で反中国抗議活動が発生し、一部暴徒化した抗議活動参加者が、各地の工業団地等において主に外国系企業に対して、破壊行為や略奪行為を行った。ベトナム北部や中部においては日系企業の物的、人的被害は把握されていないが、南部においては物的被害が確認されている。